



# ルビ財団とは



一般財団法人 ルビ財団

<https://rubizaidan.jp/>

## ルビ財団の概要

ルビ財団は、出版物及びデジタルコンテンツにおけるルビ（振り仮名の小活字）の普及・活用を促進することにより、国語能力及び知的好奇心・思考力の向上に寄与するとともに、外国人や障害のある人を含むあらゆる人の暮らしやすい多文化共生の社会づくりに寄与することを目的とする。

名称	一般財団法人 ルビ財団
設立年月日	2023年5月24日
評議員（ファウンダー）	松本 大（マネックスグループ代表）
評議員	土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）
評議員	郡 裕一（エデルマン・グローバル・アドバイザー日本代表）
理事（代表理事）	伊藤 豊（スローガン創業者、KMFG代表）
理事	宮崎 真理子（NPOフローレンス理事、コモンライト代表）
理事	仲川 文隆（伸和印刷代表）
監事	佐々木 雅一（佐々木会計事務所代表）
所在地	東京都港区新橋2-5-2 goodoffice 新橋
活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出版物におけるルビの普及・活用の促進</li><li>・ テクノロジーを活用したデジタルコンテンツにおけるルビ（もしくはルビ同等の機能）の普及・活用の促進</li><li>・ ルビの普及・活用によって外国人や障害のある人を含めたあらゆる人が暮らしやすいユニバーサルデザインの社会づくりに向けた提言・企画・実装支援</li><li>・ ルビの普及・活用の社会的効果に関する研究・調査と啓発活動</li></ul>

## ファウンダーおよび代表理事の紹介



**ファウンダー・評議員**  
**松本 大（まつもと おおき）**

1994年、史上最年少の30歳でゴールドマンサックス・パートナーに就任。アジアにおけるトレーディング、リスク・マネジメントの責任者となり、スペシャル・シチュエーション・グループも設立。1999年、ソニーとの共同出資でマネックスを設立。マネックスは東証プライムに上場しており、現在は取締役会議長兼代表執行役会長。マネックスグループは、日・米・中（香港含む）・豪でオンライン証券を運営する大手オンライン金融グループ。2018年にコインチェックを買収し、暗号資産事業も中核的事業に。2020年、日本の資本市場の活性化を目指し、上場企業へのエンゲージメントを通じて投資リターンを追求するカタリスト投資顧問を設立。経済審議会委員、東京証券取引所を含む複数の上場企業の社外取締役歴任。現在は、マスターカード社外取締役、ヒューマン・ライツ・ウォッチ国際理事会副会長。



**代表理事**  
**伊藤 豊（いとう ゆたか）**

1977年栃木県宇都宮市生まれ。東京大学文学部行動文化学科（心理学）を卒業。2000年に日本アイ・ビー・エムに入社。2005年にスローガン株式会社（現在は東証グロース上場）を創業し2022年2月までの約17年間代表取締役社長を務めた。2022年には東京大学出身の上場企業創業者有志を中心に立ち上げたUT創業者の会ファンドを立ち上げ、現在もファンドのジェネラルパートナーを務める。2021年から経済同友会のノミネートメンバーに選出され、教育改革委員会副委員長を務め2023年より経済同友会会員。著書に「Shapers 新産業をつくる思考法」がある。株式会社エルテス、株式会社TOUCH TO GOの社外取締役や、他複数社のスタートアップのアドバイザーも務めると同時に、一般財団法人Soilのアドバイザーや活育財団の評議員など非営利領域でも活動。

# メンバープロフィール

## ● 評議員



ファウンダー

まつもとおおき

**松本 大**

マネックスグループ代表



どいかなえ

**土井 香苗**

国際人権NGOヒューマン・  
ライツ・ウォッチ日本代表



こおりゆういち

**郡 裕一**

エデルマン・グローバル・  
アドバイザー日本代表

## ● 理事



代表理事

いとう ゆたか

**伊藤 豊**

スローガン創業者、  
KMFG代表



みやざき まりこ

**宮崎 真理子**

NPOフローレンス理事、  
コモンライト代表



なかがわ ふみたか

**仲川 文隆**

伸和印刷代表

## ● 監事

ささきまさかず

**佐々木 雅一**

佐々木会計事務所代表

## ● 事務局



ふじた よしこ

**藤田 淑子**

フィランソロピー・  
アドバイザーズ代表



こしば ゆうこ

**小柴 優子**

フィランソロピー・  
アドバイザーズ代表



すずき りほ

**鈴木 莉帆**

フィランソロピー・  
アドバイザーズ  
アシスタント・アドバイザー

## アドバイザー陣

### ● アドバイザー



いしい だいち  
**石井 大地**

株式会社グラファー  
代表取締役／創業者



おかもと ゆきのり  
**岡本 幸憲**

株式会社グーフ CEO



かながき ひでゆき  
**金柿 秀幸**

株式会社絵本ナビ  
代表取締役社長CEO



さそう くにたけ  
**佐宗 邦威**

株式会社BIOTOPE CEO /  
Chief Strategic Designer



たかはし ふみこ  
**高橋 史子**

東京大学大学院総合文化研究科  
准教授



やまざき みつひこ  
**山崎 光彦**

特定非営利活動法人ETIC  
Director of International Partnerships

## 設立ストーリー

- 設立者である松本大の子どもの頃の原体験による問題意識からスタート
- たくさんの本に囲まれて育ち、本棚の下段にあるルビ付きの本。ルビがあるおかげで、園芸の本や科学の本、政治や経済、文化の本など、大人向けの本を読み進め、子どもながらに自分の世界を広げることができた
- 日本語は英語に比べて読めない単語に出会ったときに苦勞する言語。アルファベットの並びで辞書引きがしやすいが、読めない漢字の場合は調べるのに苦勞。ルビがあれば読める。知らない単語も読めれば調べやすい。
- 子どもに限らず、大人でも読めない漢字は意外とある。特に分野が違う本を読むと結構ある。リスキングの文脈でも必要では？
- 日本語は語彙数が多くて、日本語を学ぶ外国人にとっても苦勞が多い。漢字の読みに困難を抱えるような学習に関する障害（ディスレクシア等）をもつ人たちにとっても助けになる
- できるだけ出版物や街の中の掲示物にルビをふるようにする。たったそれだけのことで、もしかしたら多くの人たちの助けになり、誰もが暮らしやすく、子どもたちが好奇心の赴くままに世界を広げていける社会になるのでは？という仮説からスタート

## ファウンダー・松本大からのメッセージ(抜粋)

或る時からルビがあまり振られなくなりました。それは本だけではありません。例えば最近でも、美術館に行って日本の室町時代や江戸時代の作品を見る時、横に貼ってある説明文の多くの部分が、伝統的な工法だったり、材料だったり、或いは作品の名前自体が、漢字で書かれていて、私でさえ音読することが出来ず、そうすると全く頭に入らなくて、理解することも覚えることも出来ません。英語の説明も付いていることが増えたので、そちらを見て、読み方を知る始末です。

小さい頃に読んだ漫画に「天才バカボン」があります。その中の或る話を鮮明に覚えています。バカボンのパパが駅前の映画館で洋画を観て帰ります。するとママに何を観てきたのか聞かれます。パパは「とにりぬじゃ！」と答えます。何でしょう？「風と共に去りぬ」なのです、パパは漢字が読めないから。「かぜとともにさりぬ」だったら、まだ何か想像できます。「とにりぬ」じゃ何の思索も巡りません。

近頃の子供は漫画ばかり見る。当たり前です、総ルビだから。実際ルビが振られている本は、漫画以外にもあります。でもそれは子供の本なのです。科学、社会、政治、文化、宗教、小説。大人の本にはルビが振られていません。これらの本にルビが振られていれば、子供は好奇心に任せて、背伸びして、大人の本を読める、大人の世界を垣間見ることが出来ます。子供の本ではなく、大人の本にもっとルビを振ってほしいのです、子供のために。

## ファウンダー・松本大からのメッセージ（抜粋）

英語圏では、この問題はありません。アルファベットという、全部ひらがなで書かれているようなものですから。音楽家は小学生や中学生でも、世界のトップクラスになり得ます。或いはそのための教育を受けられます。しかし日本では、科学・政治・社会・文化の世界では、先ずは漢字が読めるようになってからでないと、学習を始めることすら出来ません。しかし英語圏の子供は最初から好きな本を読みに行くことが可能です。

STEM/STEAM教育の理論では、子供が算数の問題を解けない原因のほとんどは、問題の意味が分からないからだ、と説きます。算数の問題に限らず、子供たちは読めなくて意味が分からないことに囲まれています。ルビがあれば、もっと子供が問題を理解できる。もっと自由に好奇心のある分野を追求することが出来る。

今こそルビを増やすべきだと思うのです。インターネット総ルビ図書館を作りたい。出版物にもっとルビが振られる社会ーそれは子供や外国人などに優しい社会ーを取り戻したい。テクノロジーを駆使してルビが自動的に振られるルビ眼鏡を作りたい。

子供の学習を効率的に推進し、好奇心を発達させ、興味を自ら追究できる社会。外国人にも優しい社会。そして実は、私も含めた大人にとっても情報量が増える社会。ルビを増やす活動は、いわゆるインクルージョンを推進する活動です。



## 代表理事・伊藤の問題意識

- 娘に読書の習慣をつけてほしくて本を買い与えて、大人向けの本にはルビがないものが多く、読んでほしくても読めない本が多いことに不満。
- 起業して17年間ビジネスのことばかり考えてきたため、小説や他のジャンルの本をあまり読まなかった。数年前から少しずつ読むようになり、自分も読めない漢字が多いことに気づく。

### ここ4年間で私が読めなかった漢字リスト143個から抜粋

嚙矢  
禍々しい  
鼎談  
刃傷沙汰  
踵を返す  
幕間  
毀誉褒貶  
磔刑  
残滓  
渾名  
時化

判官鼻肩  
贖宥状  
爾来  
纏足  
気圧される  
唯々諾々  
拳って  
安普請  
叢生  
桎梏

## ビジョン

ルビ財団は、社会にふりがな（ルビ）を適切に増やすことで  
あらゆる人が学びやすく、多文化が共生する社会づくりを目指します。

よめる。

➡ 読める本が増える。看板や表示が読めるようになる。

わかる。

➡ 解ることが増える。異文化でもお互いを分かりあえる。

ひろがる。

➡ 知的好奇心が広がる。多文化が共生し、世界が広がる。

Rubyful for sustainability and multiculturalism



## 活動コンセプト

### 「ルビフルな社会をつくる」

本をもっとルビフルに！デジタルコンテンツをもっとルビフルに！

公共の空間をもっとルビフルに！企業活動をもっとルビフルに！

# ルビフル Rubyful

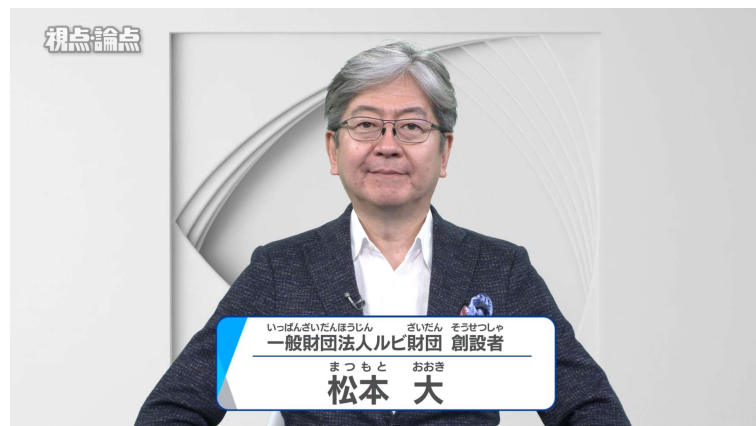
～で満ちているという意味の接尾辞 -ful と  
ルビを振るのふるをかけたダブルミーニングの造語。

使い方の例)

- ・ルビフル文庫／ルビフルブックス
- ・ルビフルネス
- ・ルビフルな社会を  
(⇔ ルビレスはやさしくない)
- ・ルビフルで始めるDEI
- ・ルビフル図書館
- ・ルビフルシティ (タウン)
- ・ルビフルカンパニー
- ・ルビフルな出版社
- ・ルビフル人
- ・Be Rubyful.
- ・Go Rubyful.
- ・Team Rubyful
- ・Rubyful Project
- ・We are Rubyful.
- ・I am Rubyful.
- ・Rubyful!

## メディアへの掲載実績

活動の切り口のユニークネス、意外性からNHKをはじめとするマスメディアの皆様からも高い関心を持っていただいております。



NHK／ABEMAプライム／朝日小学生新聞／朝日中高生新聞／中日こどもウィークリー／東京新聞／中日新聞／下野新聞／日本教育新聞／共同通信／NHKラジオ／TBSラジオ／LuckyFM茨城放送／FM岡山／AERA／NIKKEIリスキング／FNNプライムオンライン／読売新聞オンライン

## 活動内容

ルビを広める！

以上。

## 活動内容

さあ、どうしよう？  
何をすればいいのか??

## 活動について

紙の書籍などの出版物は抵抗も多く、まずはルビの重要性の啓発活動が大事と気づく。と同時に、デジタルを先に取り組むとともに、エビデンスの取得に向けた研究にも着手。

### ● ウェブメディア「ルビフル」の運営

ルビの重要性・意義について有識者・インフルエンサーに語ってもらうコンテンツを量産していく。ルビにまつわるリサーチをもとに問題提起するホワイトペーパーの作成等も。

### ● デジタルツール「ルビフルボタン」の開発（ルビテック）

ウェブサイトにもルビのON/OFF機能を実装できるコードの開発

### ● ルビの効用に関するエビデンス調査研究（ルビデンス）

東京大学の高橋史子准教授と教育現場における多文化共生をテーマに共同研究を準備中

## ルビフルボタン

ウェブサイトのHTMLのheadにコード一行を追加するだけで、ルビのON/OFF機能を実装。オープンソースプロジェクトとして無償利用が可能。



トップ

財団について

活動について

お知らせ・記事

お問い合わせ

よめる。  
わかる。  
ひろがる。

Rubyful for sustainability and  
multiculturalism



- 画面の右下にポップアップでボタンが登場
- クリックごとにルビのある／なしが切り替わる
- ボタン表示位置やデザインはカスタマイズ可能

ルビ財団は、社会にふりがな（ルビ）を適切に増やすことで  
あらゆる人が学びやすく、多文化が共生する社会づくりを目指します。

ファウンダー・評議員メッセージ

私はルビがもっと振られる日本社会の実現（再現）を夢見ています。





## ルビフルボタンの開発背景

ウェブサイトにルビをふる方法としては、サイト側で対処する方法として、「伝えるウェブ」（アルファサード社）などがあり、ユーザ側で対処する方法として、Chromeの拡張機能（サテライトオフィスなど）がある。

Chrome拡張機能の導入はユーザ側の意識とリテラシーが必要。サイト側で対処できる方法を提供したいと考えた。本格的にやさしい日本語などのアクセシビリティ対応する場合には、「伝えるウェブ」などの有償プロダクトを推奨したいが、まず無償でふりがな機能だけでも入れたい場合の選択肢として、ルビフルボタンがあると良いのでは？と考えた。

## ルビフルボタン利用上の注意点

- すべて正しくルビがふられるわけではありません。
- 人名・地名など固有名詞や読み方が複数あるものは間違える可能性があります。
- 修正したい場合には、HTMLソース上で個別に<ruby>タグを設定いただき指定すると、表示したいルビが設定されます。
- サイトの読み込みスピードが遅くなる場合があります
- 他のJavaScriptの動作に影響を与える可能性があります。

## ルビフルボタンのベータ版のウェイティングリスト登録を開始しました

ルビ財団、ウェブサイトに自動でふりがなを追加する  
機能「ルビフルボタン（β版）」を提供開始

📅 2024年3月14日 🕒 2024年3月14日 👤 ルビ財団

 **ILBI財団**

ウェブサイトに自動でふりがなを追加

**「ルビフルボタン（β版）」**

提供開始

<https://rubizaidan.jp/rubyfullbutton-guide/>

## 導入事例

- ニッセイアセットマネジメント様  
サステナビリティサイトでのルビフルボタンを導入。  
ESGやサステナビリティの取組を率先する姿勢を示す



<https://www.nam.co.jp/sustainability/index.html>

## 企業様とのコラボ

ルビフルボタンの活用でウェブコンテンツへのルビふりや、ウェブコンテンツ以外も含めた企業が発信するコンテンツ（名刺や会社案内、サービス案内など）へのルビふりも含めて、ルビ財団がルビフル活動をサポートすることで、各種メディアへの露出やPRにも貢献します。

- 某大手企業様  
インパクトレポートの作成にあたって中高生世代にも読みやすいようにルビ付きでの作成を検討中。ルビ財団との連携も。
- 某大手出版社様  
子ども向けの学習図鑑と関連するウェブサイトにルビフルボタンの導入を進行中。  
紙の図鑑は総ルビなのに、ウェブコンテンツにルビがない状態なため、子どもたちの利用が思うように伸びていない現状に問題意識。
- 某テクノロジーベンチャー企業様  
小学生向けのSTEM教育に使われる工作キットなどの説明ページにルビフルボタン導入検討。

## お問い合わせ先

お問い合わせに関しましては、下記までご連絡ください。  
メディアでの取材、各種コラボレーションのご相談、ご質問・ご意見などお待ちしております。

<https://rubizaidan.jp/inquiry/>